

〈保証内容のご確認とお願い〉

- この保証書は、記載内容(無料修理規定)に基づいて、無料修理を行うことをお約束するものです。本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の有償修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談室までご相談ください。
- 無料修理を受けられる場合は、「ご購入明細書」が必要になります。
お買い上げ日と販売店を、「ご購入明細書」にてご確認ください。
※「ご購入明細書」とは、製品の納品時にお客様にお渡しする「納品書兼出荷案内書」・「販売店が発行する納品書(製品明細の記載があるもの)」のことです。

〈保証期間について〉

- 保証期間は、一般社団法人日本オフィス家具協会(JOIFA)のガイドラインに準拠し、電気部品を除いて、お買い上げの日から下記の年限とさせていただきます。

1年	外観・表面仕上げ	塗装および樹脂部品の変色・退色、レザー・クロスの摩耗。
2年	機構部・可動部	引き出し・スライド機構・扉の開閉・錠前・昇降機構などの故障。
3年	構造体	強度・構造体にかかわる破損。

※使用頻度としましては、週40時間(週5日として1日8時間)の労働時間を想定しています。
24時間体制の執務、年中無休での業務や、これに準ずる過酷なご使用をされる場所(消防・警察・鉄道・各業種の監視室・警備室・新聞社・TV局・学生寮・病院等)での使用頻度を前提とした保証期間ではありません。ご理解の程お願い致します。

- 電気部品にしましては、下記の年限とさせていただきます。

1年	電気部品	照明器具、スイッチ、ACアダプタ、コンセント、モーターなど。
----	------	--------------------------------

お試しの電池は、保証対象外です。

〈無料修理規定〉

- 1.保証期間中に、取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で当社の責任と認められる不具合・故障が発生した場合は、無料修理をさせていただきます。
その際、張り地などの部材交換が必要な場合に本製品と同等の機能部材を使用する場合があります。

また、弊社の判断により製品全体を交換させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

- 2.お買い上げ日から保証期間中に故障が発生した場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談室へご相談ください。
- 3.保証期間が過ぎた後や保証が適用されない故障につきましては、有料で修理させていただきます。
- 4.保証期間内でも以下の場合は有料となりますのでご了承ください。
(イ)ご購入明細書のご提示が無い場合
(ロ)ご購入明細書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句が書き換えられた場合
(ハ)消耗部品(弊社指定部品)の交換
(ニ)第三者から転売・譲渡を受けた場合
(ホ)火災・水害・塩害・ガス害や地震などの天災地変による故障または破損
(ヘ)使用上の誤りによる故障または破損
(ト)カタログ、取扱説明書に記載の禁止事項もしくはそれに類する操作またはご使用者の故意もしくはは重大な過失による故障または破損
(チ)加工・改造・不当な修理による故障または破損
(リ)設置後の落下、衝突や移動によって生じた故障または破損
(ヌ)接続している他の機器に起因した故障または破損
(ル)異常な環境下(高温・多湿・著しい温度変化等)での使用もしくは保管による故障または破損
(ヲ)強い磁気の影響や特殊工具の使用による故障または破損
(ワ)屋外・温浴施設・プールなどで使用された場合の故障または破損
(カ)経時変化により発生する不具合または塗装面の自然退色
(コ)使用時の手垢埃等の汚れによる仕上げ表面の変化
(ク)使用上の消耗により発生する異音などの現象、変質またはさび・かびの発生
(ケ)外観の傷・へこみ・変形や再現のできない不良
(コ)一般的に品質や機能上、影響のない感応的現象(におい、音鳴りや振動など)
(ツ)日本国外で使用された場合に生じた故障または破損
- 5.ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店またはお客様相談室までご相談ください。
- 6.本書およびご購入明細書は日本国内においてのみ有効です。
- 7.ご購入明細書は再発行致しませんので、大切に保管してください。

医療施設用家具(診察室)

インフォントiシリーズ

- 診察デスク(ストレートタイプ) HIF-S1□0□(L・R)
- 診察デスク(ラウンドタイプ) HIF-R1□0□(L・R)
- 診察デスク(L型タイプ) HIF-L1□16(L・R)
- センター引き出し(オプション) SDC-IS□□□
- PCハンガー(オプション) SDA-CTPC10



ストレートタイプ

ラウンドタイプ

L型タイプ

もくじ

- 1.安全上のご注意 1
- 2.未永くご使用いただくためのご注意 3
- 3.使いかた 4
- 4.配線のしかた 7
- 5.お手入れのしかた 7
- 6.故障かな?と思ったら(不調診断) 8
- 7.部品の交換について 9
- 8.仕様 9
- 9.診察デスクの組み立てかた 10
- 10.センター引き出し(オプション)の取り付けかた 16
- 11.PCハンガー(オプション)の取り付けかた 17

このたびはコクヨ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に、よくお読みの上、正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

※諸般の事情により、予告なく仕様が変わることがあります。あらかじめご了承ください。



1.安全上のご注意

ここに書かれた注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。いずれも安全にお使いいただくための重要な内容ですから、必ずお守りください。

警告 取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性があります。

注意 取り扱いを誤ると、軽傷を負うかまたは、物的損害が発生する可能性があります。

警告

- 製品を廃棄するときは、焼却しないでください。
有害ガスが発生するなど、周囲に危険をおよぼす原因になります。
製品を廃棄するときは、専門業者に依頼するか、お買い上げの販売店にご連絡ください。

注意

- 健康に影響をおよぼすことが考えられますので、以下の内容を守って使用してください。
 - ・ この製品を購入された当初は、化学物質の発散が多いことがありますので、しばらくの間は換気や通風を十分に行ってください。
 - ・ この製品をご使用になる室内が著しく高温多湿(温度28℃、相対湿度50%超が目安)になる場合は、窓を閉め切らないようにするか、強制的に換気を行ってください。
- 乱暴な取り扱いや用途以外の使用はしないでください。
けがや破損の原因になります。
- 床に傾斜や段差のある、不安定な場所には設置しないでください。
転倒によるけがの原因になります。

①

- 設置の際は、本体の水平を保つようにアジャスターで調節してください。
傾いた状態で設置すると、センター引き出し(オプション)が流れ出たり、本体が倒れたり、のせているものが落下して、けがをするおそれがあります。
- 本体を持ち上げてアジャスターを調節するときは、転倒しないように注意して行ってください。また、持ち上げた本体を下ろすときも、手や足をはさまないように注意してください。
けがをするおそれがあります。
- 運動具や乗物がわりに使ったり、ゲームなどの遊びに使用しないでください。(特にお子様にご注意ください。)
転倒や破損によるけがの原因になります。
- ストープなど火気を近づけて使用しないでください。
やけどや火災の原因になります。
- 可動部のすき間に手や指を入れないでください。
けがの原因になります。
- 使用していないボルト穴や取付穴に指を入れないでください。(特にお子様にご注意ください。)
けがの原因になります。

- のせるものが、天板からはみ出さないようにしてください。
ものが落下して、けがをするおそれがあります。
- 耐荷重(下表の数値)を超えて、ものをのせないでください。
全面に均等にのせた場合の耐荷重

天板	558N [60kgf]
コードダクト	49N [5kgf]
PCハンガー(オプション)	100N [10.2kgf]

- 天板やコードダクトがたわんでもものが落下し、けがや破損の原因になります。
- コードダクトにかばんなどを引っ掛けないでください。
落下によるけがや破損の原因になります。
- 天板の上に立ち上がったたり、腰を掛けたりしないでください。
転倒や転落によるけがや、ものの破損の原因になります。
- 天板の端に体重をかけたり、重いものをのせたりしないでください。
転倒や落下によるけがや破損の原因になります。
- 専用のオプションパーツ以外は取り付けしないでください。
落下して破損したり、けがをする原因になります。
- 移設するときは、オプションやのせているものをすべて取り除き、センター引き出し(オプション)を抜いてから行ってください。
のせているものが落下したり、センター引き出しが飛び出し、けがをするおそれがあります。
- 移設するときは、必ず二人以上で持ち上げて行ってください。
引きずりますと、床を傷つけたり、製品を破損するおそれがあります。

②

- 可動部に注油しないでください。
油がたれて床や衣類を汚す原因になります。
- 製品の分解や改造はしないでください。
けがや破損の原因になります。
- ボルトやネジがゆるんだままで使用しないでください。
本体の変形・破損や転倒によるけがの原因になります。早めに締め直してください。
- 溶接外れや部品の欠落など、異常を発見したときは、直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。
そのまま使用していると、製品の破損により、けがをするおそれがあります。
- この製品を他の人が使用するときは、この取扱説明書をよく読んでから使用するようにご指導ください。

〈センター引き出し(オプション)の場合〉

- センター引き出しは、ゆっくり引き出してください。
強く引き出すと、ストッパーの乗り越えや破損によって引き出しが抜け落ち、けがをするおそれがあります。
- センター引き出しを引き出した状態で、上から押さえたり、重いものをのせないでください。
本体の倒れや引き出しの破損によるけがの原因になります。
- センター引き出しを引き出せなかったり、引き出している途中で止まった場合は、無理に引き出さないでください。
破損によるけがの原因になります。
- 貴重品を入れないでください。
簡易施錠ですから、工具などによる破壊には耐えられません。

1.安全上のご注意

〈PCハンガー（オプション）の場合〉

- 固定ベルトがゆるんだままで使用しないでください。
パソコンの落下によるけがの原因になります。早めに締め直してください。

- ワゴンを天板の下に入れたり移動させたりするときは、PCハンガーに当てないように注意してください。
破損や落下して、けがをするおそれがあります。

2.末永くご使用いただくためのご注意

- この製品は室内または屋内用です。
屋外での使用や水ぬれは、故障やさび・変色の原因になります。
- 直射日光やストーブなどの熱が直接あたる場所や、湿気・乾燥の著しいところでの使用は避けてください。
変色や変形のおそれがあります。
- 天板に飲み物をこぼしたままにしたり、ぬれ雑巾などを放置しないでください。
表面材の変色やはがれ、ひび割れ、そりなどの原因になります。必ず水分が残らないように拭き取ってください。
- 使用開始後、のせたものの重量や床の状態により、本体にゆがみが出てくる場合があります。
そのときは再度、本体の水平をアジャスターで調整してください。
- とくどき、ボルトやネジのゆるみによるガタツキがないか点検し、ある場合は締め付けてください。

〈センター引き出し（オプション）の場合〉

- 収納物がセンター引き出しの後部や側面からこぼれ落ちないようにしてください。
センター引き出しの開閉や施錠の妨げになったり、故障や破損するおそれがあります。

- センター引き出しを施錠するときは、完全に閉まっていることを確認してから施錠してください。
センター引き出しが少しでも開いていると、キーが回っても施錠されない場合があります。
- センター引き出しを開けたままで、キーを施錠位置にして引き出しを閉めないでください。
鍵がかかってしまったり、施錠装置が破損する原因になります。
- キーに無理な力を加えて回さないでください。
鍵が破損する原因になります。
- シリンダー錠の鍵穴に、油や粘度のある液体を入れないでください。
誤作動の原因になる場合があります。
- スペアキーは、センター引き出しの中には入れないでください。
万一の紛失に備えて、必ず別の所に保管してください。
- キーを紛失したときは、鍵番号を確認の上、お買い上げの販売店へ合い鍵の作成をご注文ください。
鍵番号は、鍵穴の周辺に刻印されています。

3.使いかた

① シリンダー錠（オプション）の使いかた

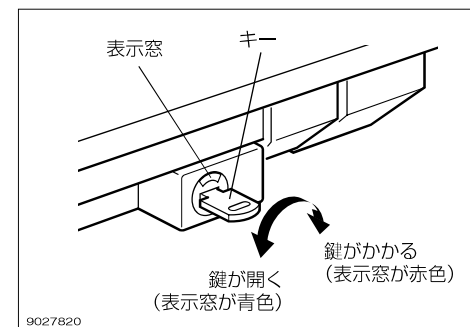
鍵の状態（かけた・かけていない）を、鍵穴上部の表示窓で色表示します。

〈鍵のかけかた（施錠）〉

鍵穴にキーを差し込み、時計回りに180°回すと表示窓が赤色になり、鍵がかかります。

〈鍵の開けかた（解錠）〉

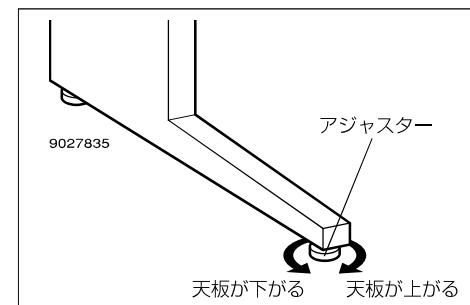
鍵穴にキーを差し込み、反時計回りに180°回すと表示窓が青色になり、鍵が開きます。



② アジャスター調節のしかた

据え付け後、ガタツキのある場合はアジャスターで調節してください。

アジャスターを時計回りに回すと天板が上がり、反時計回りに回すと天板が下がります。

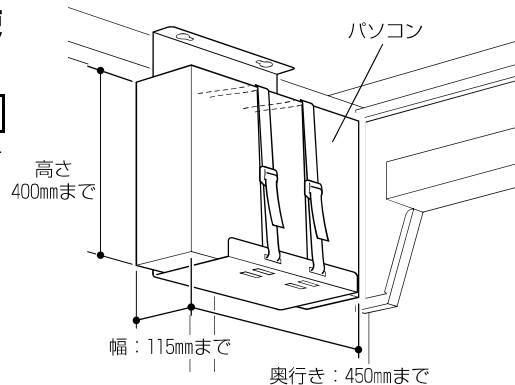


3. 使いかた

③ PCハンガー（オプション）の使いかた

耐荷重は、100N[約10.2kgf]です。

PCハンガーには、下図のようなパソコンをのせることができます。



※奥行き方向に、荷重が均等になるように、パソコンをのせてください。

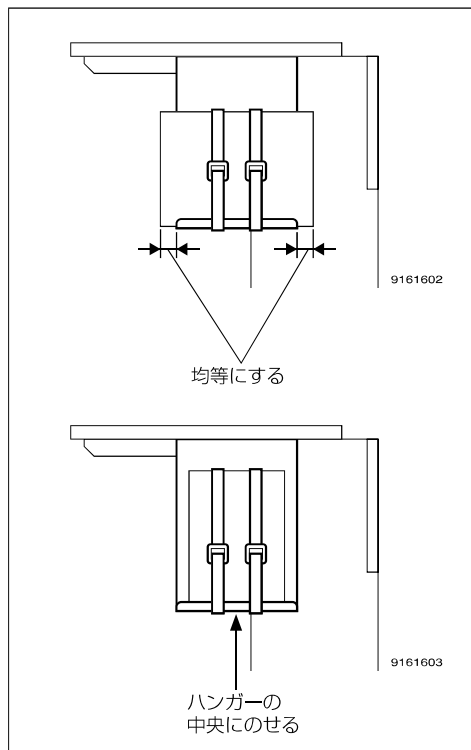
△注意

●耐荷重を超えて、パソコンをのせないでください。

破損・落下して、けがをする原因になります。

●パソコン以外のものをのせないでください。

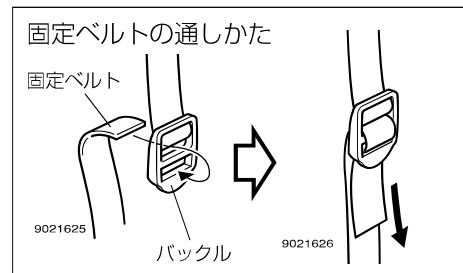
破損・落下して、けがをする原因になります。



⑤

〈パソコンののせかた〉

1. ベルトの一方を、バックルに通してください。



2. パソコンをハンガーにのせて、ベルトを引っ張り、確実に固定してください。

△注意

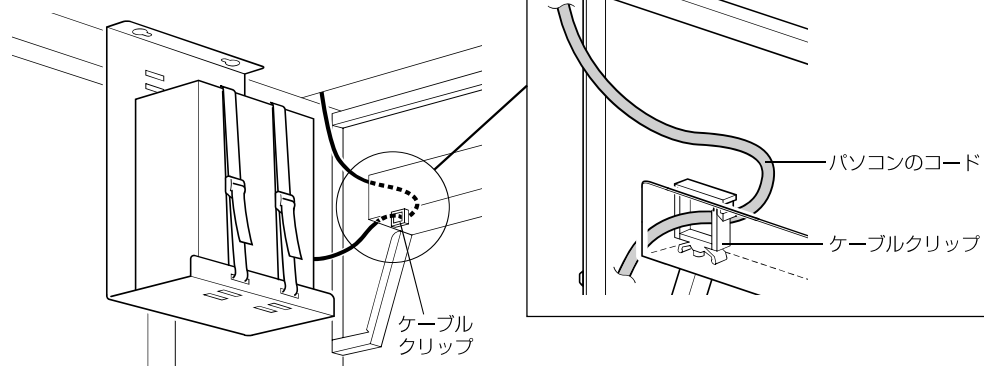
●固定ベルトは、パソコンの転倒や落下、結線不良の防止を約束するものではありません。転倒や落下には十分に注意してください。

●この製品は、パソコンを吊り下げて使用します。デスクの設置場所や、パソコンの取り付けかたによっては、若干の傾きが発生する場合がありますが、使用する上で支障はありません。

④ ケーブルクリップの使いかた

(PCハンガー [オプション]のみ)

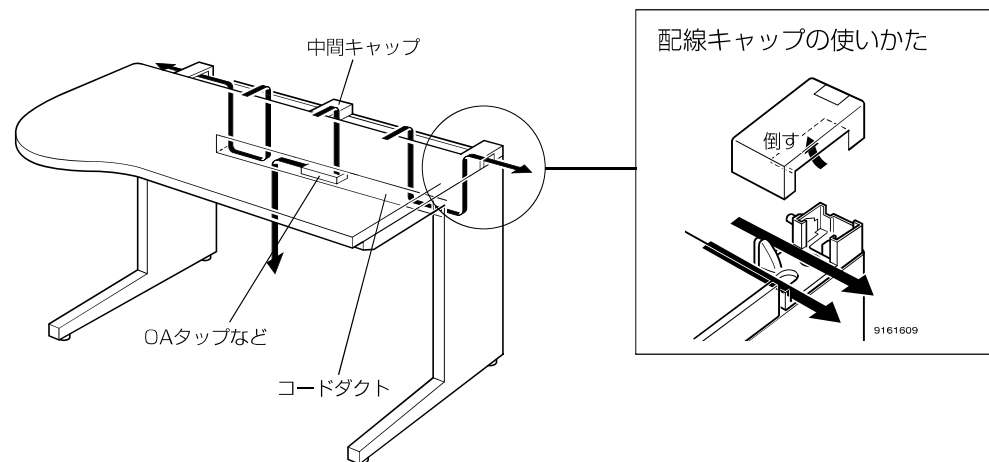
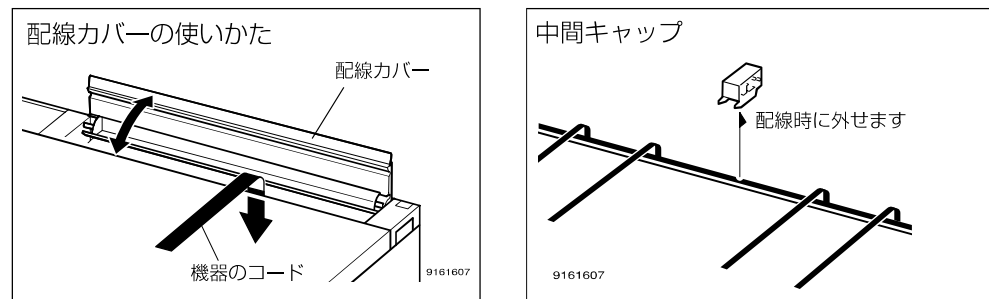
パソコンのコードを、ケーブルクリップを使って図のように配線してください。



⑥

4.配線のしかた

機器のコードは、配線カバーや配線キャップのコード取出口・コードダクトを使って配線することができます。



5.お手入れのしかた

- 日常のお手入れは、乾いたやわらかい布でから拭きしてください。
- 汚れが著しい場合は、以下の手順で汚れを落としてください。

1. うすめた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いてください。
2. 水につけた布をよく絞って、洗剤が残らないように拭き取ってください。
3. 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取ってください。

⑦

汚れを落とすときの注意

水にぬれたままにしないでください。
また市販の各種クリーナーやワックス、シミ抜きなどを使用される際は、その使用方法や使用上の注意をご理解の上、お客様の判断においてご使用ください。
正しく使用されないと変色や変形など異常の原因になります。

■消毒のしかた

消毒のしかたと注意事項については、以下をご覧ください。

https://www.kokuyo-furniture.co.jp/manual/pdf/how_to_clean.pdf



6.故障かな?と思ったら(不調診断)

こんなときは	→ こう処置してください
● センター引き出し(オプション)が閉まらない。	収納物がはみ出したり、こぼれ落ちたりして、センター引き出しの動きを妨げていることが考えられます。動きを妨げているものを取り除いてください。
● センター引き出し(オプション)が施錠できない。	センター引き出しが開いていることが考えられます。センター引き出しをきちんと閉めてください。
	収納物がはみ出したり、こぼれ落ちたりして、センター引き出しの動きを妨げていることが考えられます。動きを妨げているものを取り除いてください。
● 本体がグラグラする。	本体にゆがみが出ていることが考えられます。アジャスターを調節して、水平にしてください。(④ページの「[2]アジャスター調節のしかた」を参照)
	アジャスターを調節して、水平にしてください。(④ページの「[2]アジャスター調節のしかた」を参照)

※以上の処置をしても直らないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

⑧

7. 部品の交換について

部品の交換をご希望の場合は、お買い上げの販売店、またはお客様相談室までお問い合わせください。

△注意

お客様での交換作業はしないでください。
製品の故障・破損の原因になります。

8. 仕様

診察デスク (ストレートタイプ)

品番	HIF-	S1407 (L・R)	S1607 (L・R)	S1807 (L・R)	S1406 (L・R)	S1606 (L・R)	S1806 (L・R)
外寸法 (mm)	幅	1400	1600	1800	1400	1600	1800
	奥行き	700	700	700	600	600	600
	高さ	720	720	720	720	720	720

診察デスク (ラウンドタイプ)

品番	HIF-	R1408 (L・R)	R1608 (L・R)	R1808 (L・R)	R1407 (L・R)	R1607 (L・R)	R1807 (L・R)
外寸法 (mm)	幅	1400	1600	1800	1400	1600	1800
	奥行き	850	850	850	750	750	750
	高さ	720	720	720	720	720	720

診察デスク (L型タイプ)

品番	HIF-	L1616 (L・R)	L1816 (L・R)
外寸法 (mm)	幅	1600	1800
	奥行き	1600	1600
	高さ	720	720

診察デスクの素材

天板	表面材：メラミン化粧板、小口：樹脂(ABS)、芯材：パーティクルボード
脚	スチール(焼付塗装)、樹脂(ABS)
幕板	スチール(焼付塗装)
コードダクト	スチール(焼付塗装)
ダクトカバー	樹脂(ABS)
アジャスター	樹脂(ナイロン)

PCハンガー (オプション)

外寸法 (mm)	幅：280、奥行き：125、高さ：430	
質量 (kg)	3.1	
素材	ハンガー本体	スチール(焼付塗装)
	固定バンド	樹脂(PP)

9. 診察デスクの組み立てかた

△注意

製品の組み立ては、記載している手順・方法通りに行ってください。
誤った手順・方法で組み立てますと、けがや破損のおそれがあります。

1 構成部品

組み立てる前に、部品の数を確認してください。

品番：HIF-(S・R・L)		140□ (L・R)	16□□ (L・R)	18□□ (L・R)
梱包部品	部品の種類			
	HPT-DDIS□□□	天板	1	1
HPF-DDIS (L・R) □	外装脚	2 (左右各1)	2 (左右各1)	2 (左右各1)
	天板受け金具	2	2	2
	十字穴付トラスボルトM6×20	6	6	6
SDF-ISS76SAW	丸脚	—	1 [1616 (L・R) のみ]	1 [1816 (L・R) のみ]
	十字穴付トラスボルトM6×20	—	4 [1616 (L・R) のみ]	4 [1816 (L・R) のみ]
HPP-DPIS□□F	パネル	1	1	1
	ナット付きクリップ	2	2	2
	十字穴付トラスボルトM6×20	3	4	4
	化粧キャップ	6	6	6
	天板ブラケット	—	1	1
	中間金具	1	—	—
SDU-ISN□	配線カバー	2	2	2
	配線カバーキャップ	2 (左右各1)	2 (左右各1)	2 (左右各1)
	中間キャップ	1	1	1

センター引き出し (オプション)

品番	D600・D750	D700・D850・L型
	Sタイプ 錠付き SDC-ISJ□S 錠なし SDC-IS□S	
梱包部品	部品の種類	
SDCC-ISS (J) □	センター引き出し	—
SDCC-IS (J) □	センター引き出し	1
SDCJ-ISS10W	引き出しレール (D600・D750用)	1
	ボルトキャップセット	1
SDCJ-IS10W	引き出しレール (D700・D850・L型用)	—
	ボルトキャップセット	1

※W1400天板にはセンター引き出し4 (L・S)、W1600天板にはセンター引き出し5 (L・S)、W1800天板にはセンター引き出し7 (L・S) が取り付けられます。

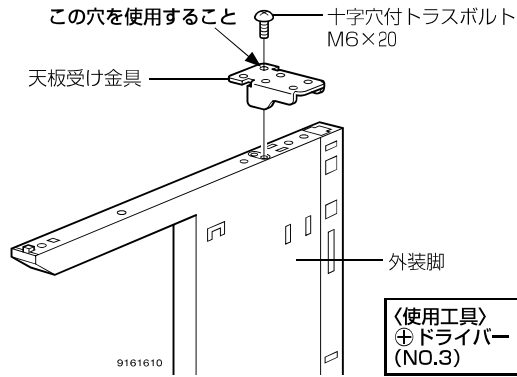
9. 診察デスクの組み立てかた

② 天板受け金具の取り付け

外装脚（左・右）に天板受け金具を取り付けてください。

〈ご注意〉

ボルトの取付穴は、必ず右図の穴を使用してください。反対側の穴を使用しますと、天板を取り付けることができません。

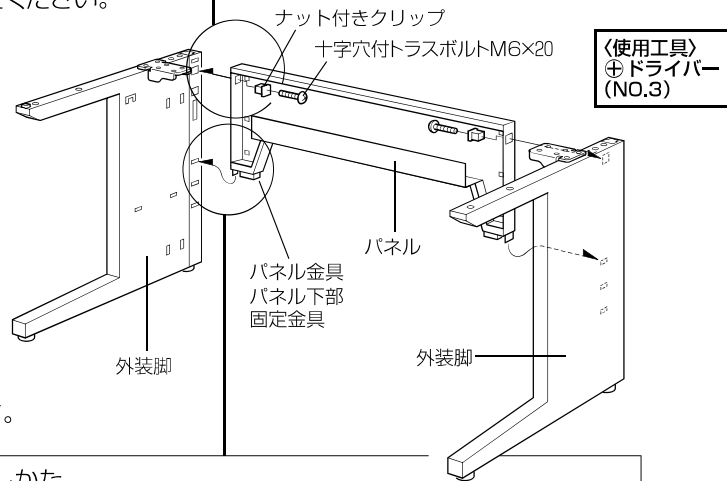
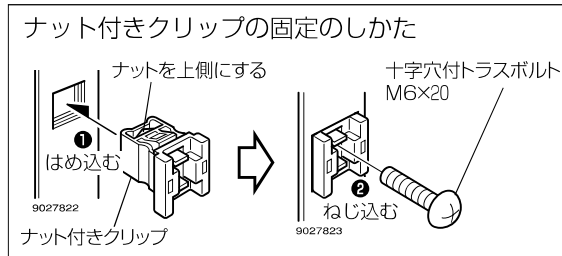


〈使用工具〉
⊕ドライバー
(NO.3)

③ 外装脚とパネルの取り付け

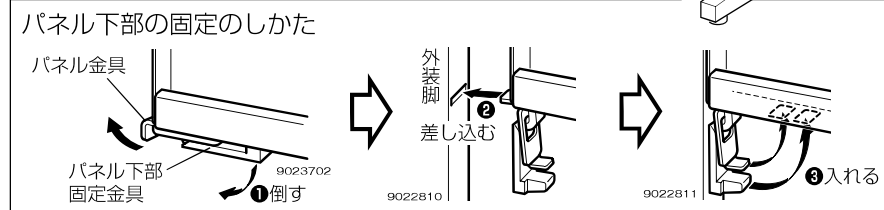
1. パネル下部を外装脚に、パネル下部固定金具とパネル金具で固定してください。

2. パネル上部を外装脚に、ナット付きクリップで固定してください。



〈使用工具〉
⊕ドライバー
(NO.3)

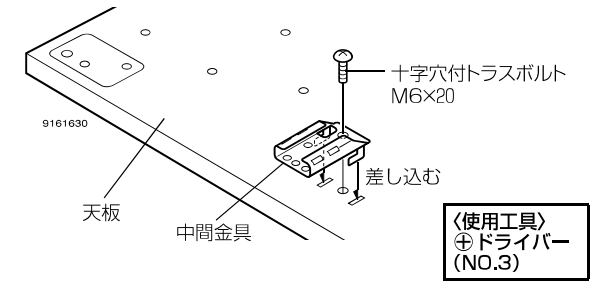
※図は対面の場合です。



④ 中間金具の取り付け

W1400の場合

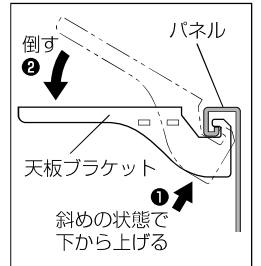
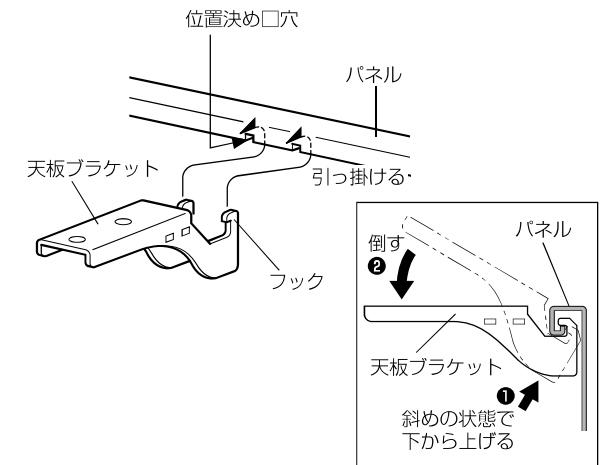
天板を裏返しに置き、中間金具を図のように取り付けてください。



〈使用工具〉
⊕ドライバー
(NO.3)

W1600・W1800の場合

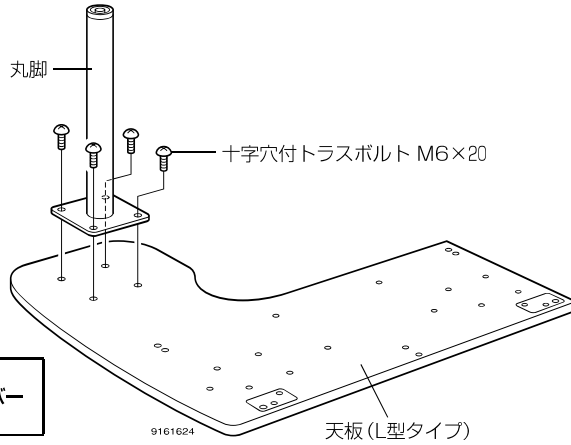
パネルの位置決め口穴を目印に、天板ブラケットのフックをパネルの上段に引っ掛けてください。



9. 診察デスクの組み立てかた

5 丸脚の取り付け (L型タイプのみ)

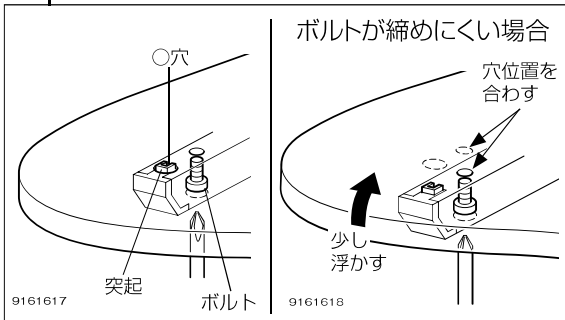
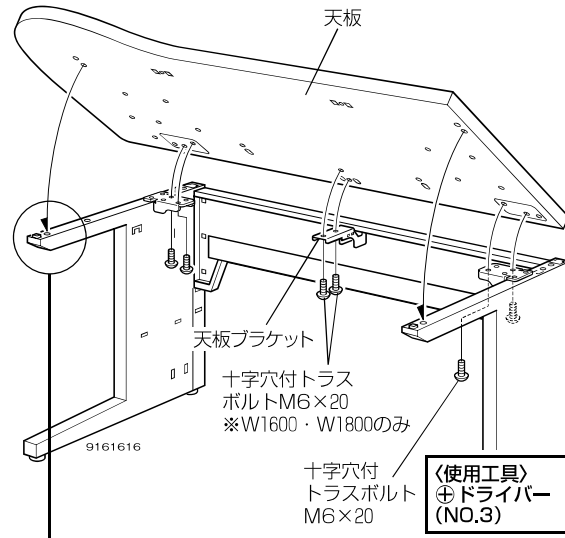
天板を裏返しに置き、丸脚を図のように取り付けてください。
このとき、天板を傷つけないように、下に梱包材などを敷いてください。



〈使用工具〉
⊕ドライバー
(NO.3)

6 天板の取り付け

1. 外装脚の上に天板をのせ、外装脚前部の突起を天板の丸穴に入れてください。
2. 天板受け金具と天板を、ボルトで仮締めしてください。
3. 外装脚前部の下側の穴から⊕ドライバーでボルトを締め付けてください。
※ボルトが締めにくい場合は、天板を少し浮かせた状態で穴位置を合わせてください。
4. 仮締めしたすべてのボルトを本締めしてください。



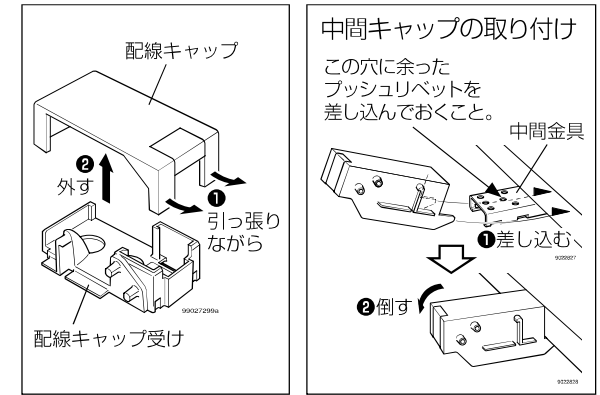
13

7 ダクトカバーセットの 取り付け

1. 配線キャップ受けから配線キャップを取り外してください。

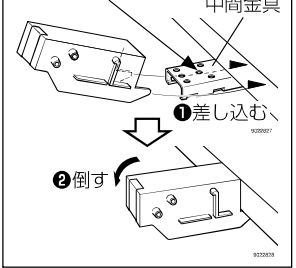
〈ご注意〉

配線キャップを付けたままでは、取り付けることができません。



中間キャップの取り付け

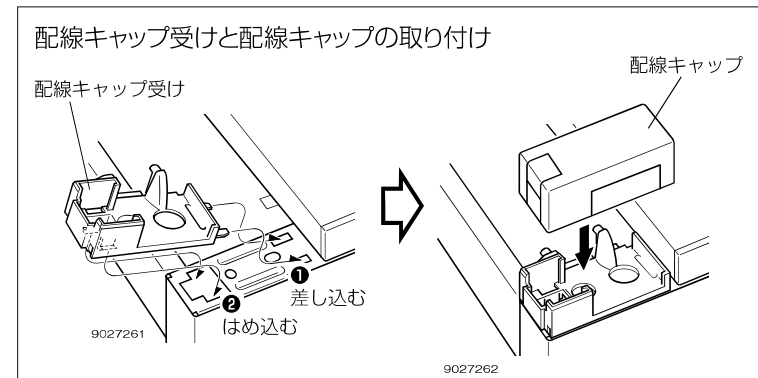
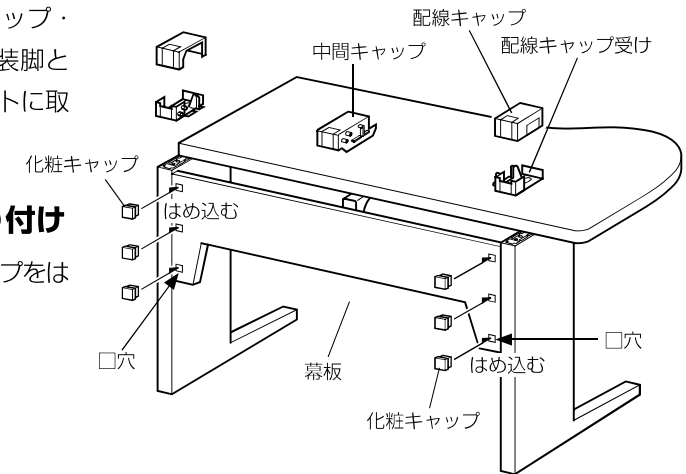
この穴に余ったプッシュリベットを差し込んでおくこと。



2. 配線キャップ・中間キャップ・配線キャップ受けを、外装脚と中間金具・中間ブラケットに取り付けてください。

8 化粧キャップの取り付け

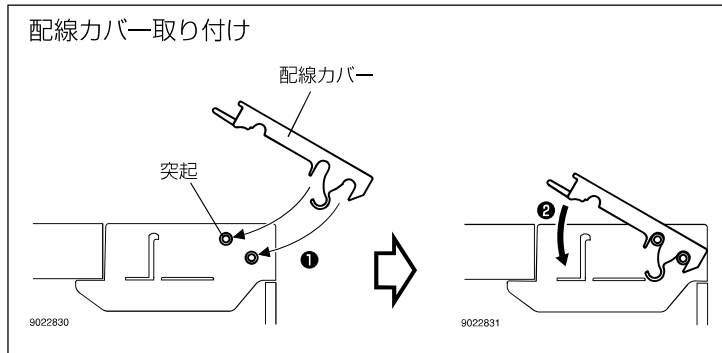
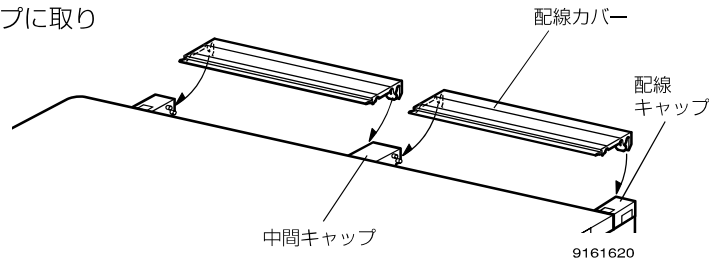
1. 幕板の□穴に、化粧キャップをはめ込んでください。



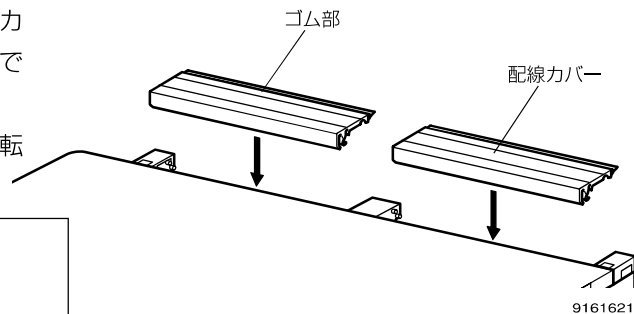
14

9. 診察デスクの組み立てかた

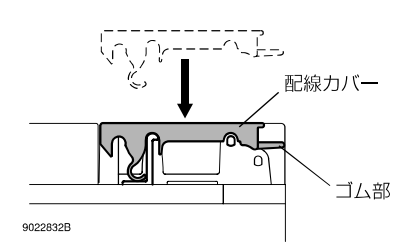
2. 配線カバーを、キャップに取り付けてください。



※ゴム部を後方にして配線カバーを取り付けることもできます。
このとき配線カバーは回転しません。



ゴム部を後側にする場合



以上で、組み立ては完了です。
ガタツキがあるときは、アジャスターで調節してください。
(④ページの②を参照)

⑮

10. センター引き出し(オプション)の取り付けかた

△注意

製品の取り付けは、記載している手順・方法通りに行ってください。
誤った手順・方法で組み立てますと、けがや破損のおそれがあります。

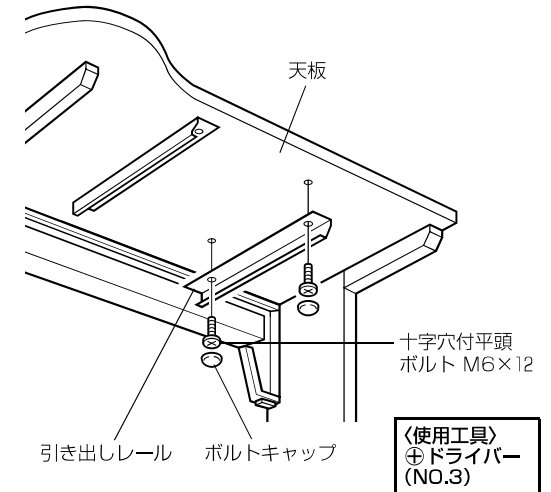
① 引き出しレールの取り付け

〈ご注意〉

センター引き出しには、Sタイプ・Lタイプがあります。

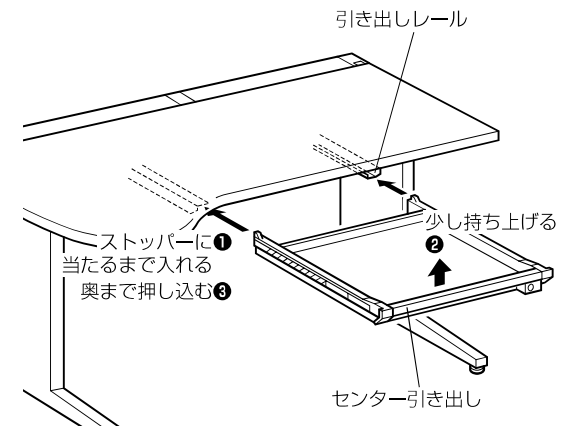
SタイプはD600・D750用、LタイプはD700・D850・L型用です。

1. 天板裏面に引き出しレールを、ボルトで仮締めしてください。
2. 引き出しレールを平行に取り付けるため、引き出しをレールに合わせて入れ、一度開閉させてください。
3. 引き出しを手前に引き、引き出しレールの後側のボルトを本締めし、引き出しを完全に引き抜いてレールの前側のボルトを本締めしてください。
そうすることで、引出しがスムーズに動きます。
4. ボルトの頭にボルトキャップを取り付けてください。



② 引き出しのセット

センター引き出しを再び引き出しレールに合わせて入れてください。



⑯

11.PCハンガー(オプション)の取り付けかた

△注意

製品の取り付けは、記載している手順・方法通りに行ってください。
誤った手順・方法で組み立てますと、けがや破損のおそれがあります。

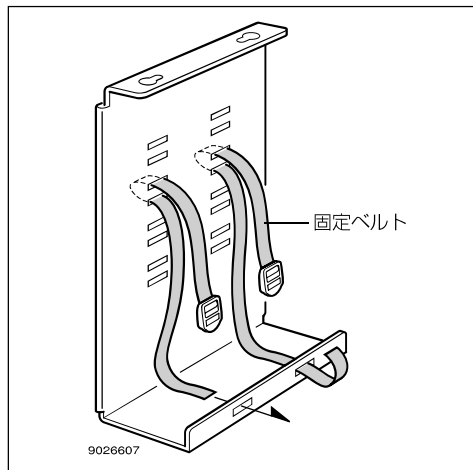
①構成部品

組み立てる前に、部品の数を確認してください。

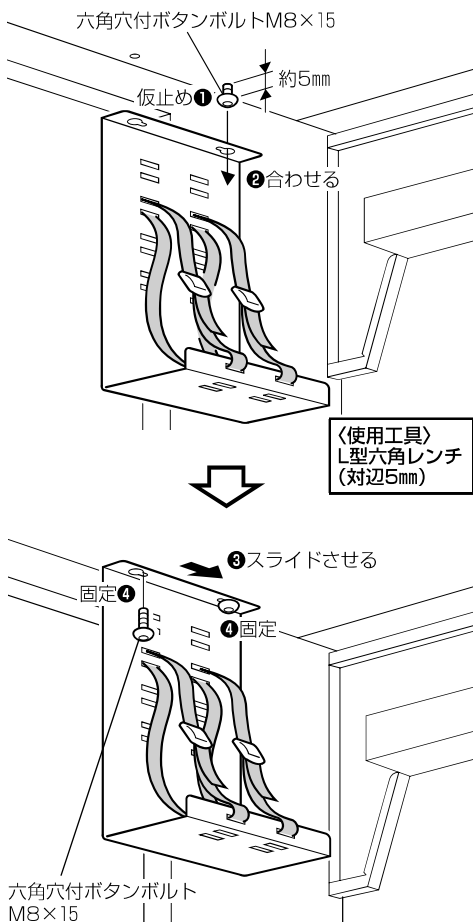
部品の種類	個数
ハンガー本体	1
固定ベルト	2
六角穴付ボタンボルト M8×15	2
ケーブルクリップ	1

②PCハンガーの取り付け

1.パソコンの高さに合わせて、ハンガー本体の固定ベルトを図のように通してください。



- 2.天板裏の取付穴の奥側に、ボルトを仮止め(5mm程度あける)してください。
- 3.PCハンガーの穴を仮止めたボルトに合わせ、奥側にスライドさせてください。
- 4.PCハンガーをボルトで固定してください。



③ケーブルクリップの取り付け

パネルの補強フレームにケーブルクリップを差し込んでください。

